

## 電事連会長 定例会見要旨

(2015年9月18日)

電事連会長の八木でございます。よろしくお願いたします。本日は「川内原子力発電所1号機の営業運転再開」、「今夏の電力需給」、「原子力緊急事態支援組織」、「高レベル放射性廃棄物の最終処分に対する理解活動」の4点について申し上げます。

### 1. 川内原子力発電所1号機の営業運転再開

最初に、「川内原子力発電所1号機の営業運転再開」について申し上げます。先週の10日にお配りいたしましたコメント、お手許の「資料1」をご覧くださいと思います。

川内原子力発電所1号機につきましては、昨年9月に原子炉設置変更許可を受領して以降、使用前検査の受検など、再稼働に向けた準備を進めてまいりましたが、先月11日に原子炉を起動、14日には約4年3ヶ月ぶりに発電を開始し、今月10日には営業運転を再開いたしました。

この度、川内原子力発電所1号機が、原子力規制委員会による新規制基準への適合性確認を経て、初めて営業運転を再開したことは、大変意義深いものと受け止めております。

鹿児島県ならびに薩摩川内市をはじめとした地元の皆さま、さらには関係者の皆さまにご理解いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

資源の乏しい我が国においては、3つのEのバランスに優れる原子力の果たす役割は大変大きいものと考えております。私どもといたしましては、引き続き、その他のプラントにおいても、新規制基準への適合性確認審査に真摯に対応し、一日も早い再稼働を目指してまいりたいと考えております。

## 2. 今夏の電力需給

次に、「今夏の電力需給」について申し上げます。今夏も、沖縄を除く全国で節電のご協力をいただいておりますが、国民の皆さまに多大なるご不便とご迷惑をおかけしておりますことを、改めてお詫び申し上げますとともに、ご協力に対しまして心より御礼申し上げます。

お手許の「資料 2」をご覧ください。1 ページの左上のグラフにございますように、今夏は、7月の最高気温は、月平均で前年を 0.7℃下回りました。

一方、8月につきましては、上旬に東京で連続としては最長となる 8日間連続猛暑日(7/31~8/7)を記録するなど、気温の高い日が続きましたが、下旬は気温が低めに推移したため、月平均では、前年を 0.5℃上回る結果となりました。

10 社合成の最大電力は、左下のグラフにございます通り、8月7日に記録した 1億 5,367 万 kW と、昨年の夏に比べて 93 万 kW、0.6%の増となりました。また、この時の供給力は、右上の表にございますが、1億 7,704 万 kW で、使用率は 87%でした。

今夏は、8月上旬に連日高気温が続きましたが、震災以降ご協力いただいておりますお客さまの節電により、結果として大きな電力需要の伸びにはつながらなかったものと考えております。

一方で、資料の 2 ページ目でございますが、供給力確保に向けた取り組みとして、火力発電所の補修時期や定期検査時期の調整、長期停止火力発電所の継続活用などを行ってまいりました。こうした取り組みの結果、これまでのところ深刻な需給逼迫には至っておりませんが、火力発電所をフル活用し、酷使し続ける対応は決して本来の姿ではなく、潜在的な故障リスクが顕在化することも懸念されます。

私どもといたしましては、引き続き、需給両面において最大限の取り組み

を進めてまいりますが、持続可能な安定供給を確保していくためには、やはり、ベースロード電源である原子力発電の再稼働が必要であると考えております。

### 3. 原子力緊急事態支援組織の設立に向けた準備状況

続きまして、「原子力緊急事態支援組織の設立に向けた準備状況」について申し上げます。お手許の「資料 3」をご覧ください。

本組織は、万一、福島第一原子力発電所と同様の原子力災害が発生した場合に、多様かつ高度な災害対応支援を行うことを目的に、自主的・継続的な安全性向上の取り組みとして設置するものであります。

2012年7月には「本組織設立の構想」について、2013年10月には、「本組織の基本構想や準備主体」、また「拠点候補地を福井県美浜町にすること」などについて、ご説明させていただいております。

その後、福井県と拠点候補地の譲渡契約を締結し、現在、敷地の造成工事などを行っているところでありますが、この度、本組織の実施主体を日本原子力発電とするとともに、業務内容・体制などの詳細を「基本計画」としてとりまとめました。

引き続き、現地工事を進めつつ、来年3月を目途に支援組織を設立し、拠点施設において整備が完了した施設から、順次使用を開始いたします。全ての施設が完成し、本格運用を開始するのは来年12月を予定しております。

私どもといたしましては、新規制基準に的確に対応していくことはもとより、事業者自らが不断の努力を重ね、徹底した安全対策に努めていく所存であり、本支援組織につきましても、拠点施設の整備を着実に進め、業界一丸となって緊急事態支援体制を構築してまいります。

#### 4. 高レベル放射性廃棄物の最終処分国民対話月間

最後に、「高レベル放射性廃棄物の最終処分に対する理解活動」について申し上げます。

この度、国においては、10月を「高レベル放射性廃棄物の最終処分 国民対話月間」と位置付け、国民の皆さまを対象としたシンポジウムを、NUMOとの共催で全国9都市において開催いたします。

高レベル放射性廃棄物の最終処分につきましては国の新たな基本方針が5月に定められ、これまでに全国各地で情報提供や意見交換が行われてきたところであります。私どもといたしましても、最終処分を含めた原子力発電の理解活動に取り組んでいるところではありますが、9月2日、経済産業省と電力業界との懇談会の場においても理解活動の推進についてご要請がございました。

これをしっかりと受け止め、先ほど開催した最終処分推進連絡協議会において、この度の国民対話月間における国の取り組みにあわせまして、最終処分に関する対話活動や理解促進に努めていくことを改めて確認いたしました。

以 上

## 川内原子力発電所 1 号機の営業運転再開について

2015年9月10日  
電気事業連合会  
会長 八木 誠

本日、九州電力川内原子力発電所 1 号機が営業運転を再開した。

原子力規制委員会による新規制基準への適合性確認を経て初めて営業運転を再開したことは、大変意義深いものと受け止めている。

鹿児島県ならびに薩摩川内市をはじめとした地元の皆さま、さらには関係者の皆さまのご理解に心から感謝申し上げたい。

先般決定したエネルギーミックスにおいて、原子力についても確保すべき一定の規模が明示されたが、資源の乏しい我が国においては、3Eのバランスに優れる原子力発電の果たす役割は大きいものと考えている。

他のプラントについても、引き続き、新規制基準への適合性確認審査に真摯に対応し、一日も早い再稼働を目指してまいりたい。

私どもは、福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさないという強い決意のもと、徹底した安全対策に努め、規制の枠にとどまらない、より高い次元の安全性確保に取り組んでまいり所存。

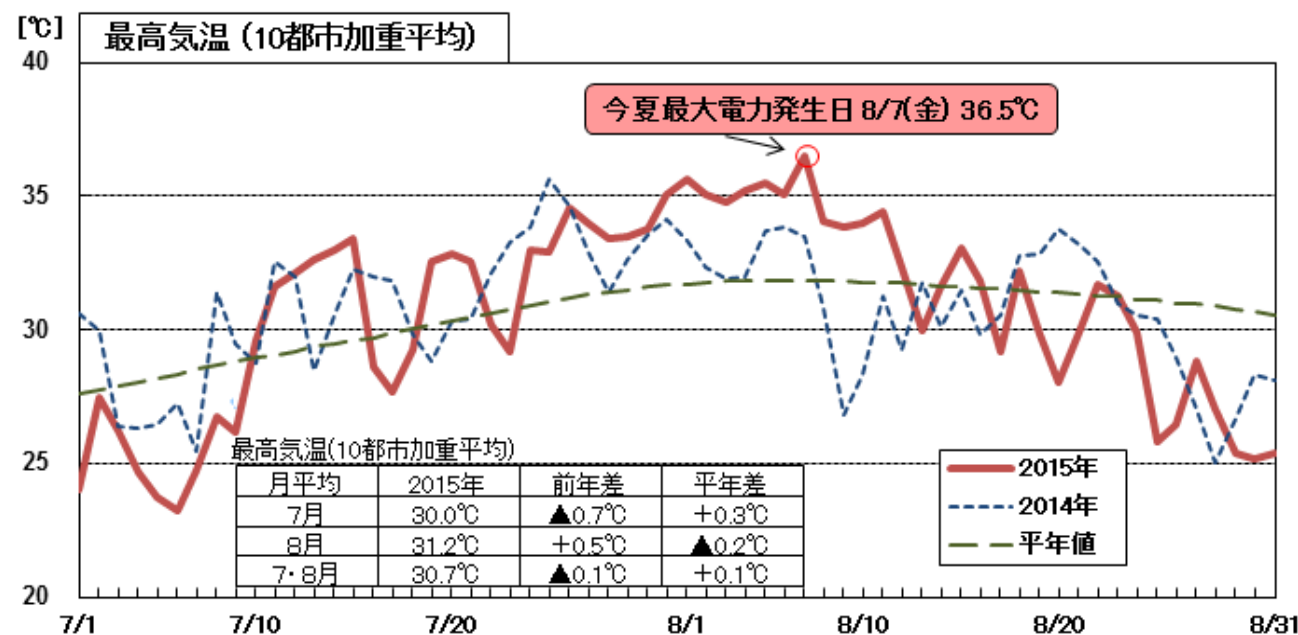
福島の復興については、今後の更なる復興の進展に期待するとともに、着実な廃炉作業の進捗に向け、引き続き、業界全体で支援してまいりたい。

以上

# 今夏(7月~8月)の電力需給について

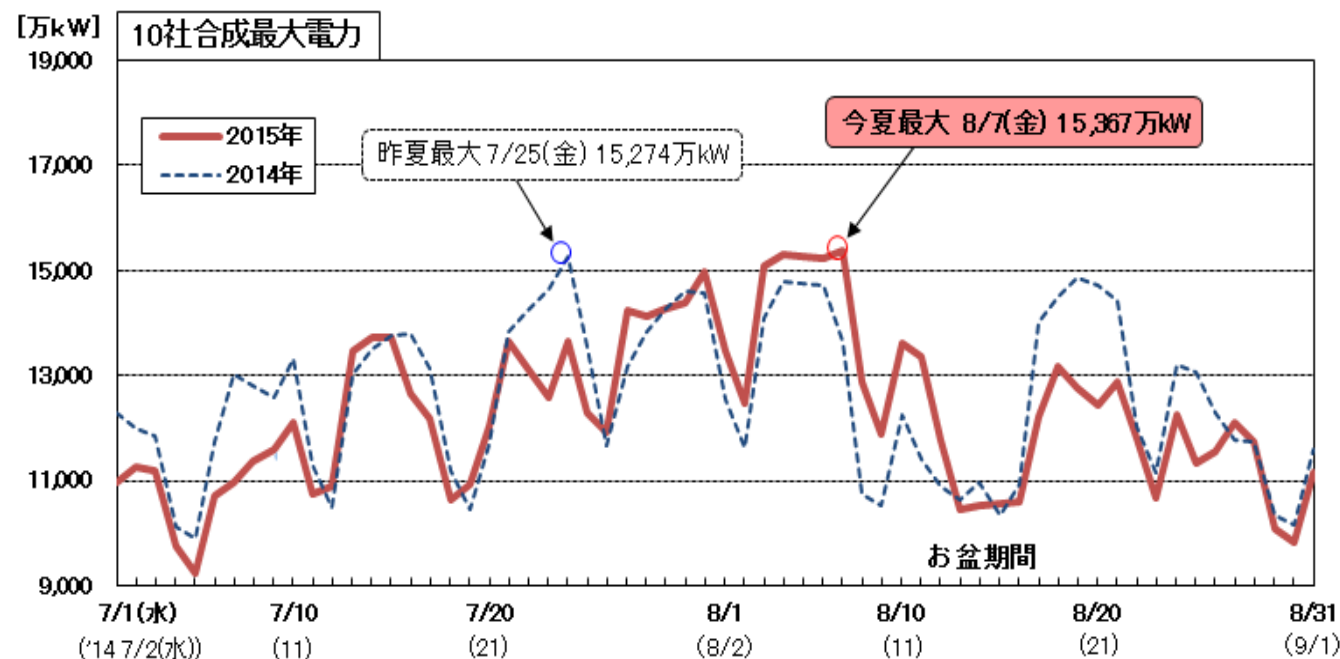
## 1. 気温状況

- 7月最高気温(10都市加重平均)の月平均は30.0℃と前年より0.7℃低く、8月は31.2℃と前年より0.5℃高かった。
- 8月上旬は、東京で連続としては最長となる8日連続猛暑日(7/31~8/7)を記録するなど、気温が高い日が続いたが、8月下旬は気温が低めに推移した。



## 2. 10社合成最大電力実績

- 10社合成最大電力は、8/7(金)の15時に発生した1億5,367万kWで、前年比93万kW増(+0.6%)であった。【参考】過去最大電力:1億8,269万kW 2001年7月24日15時
- 最大電力が発生した8/7(金)の最高気温(10都市加重平均)は36.5℃で、東京で連続としては最長となる8日連続猛暑日を記録した日が、今夏最大電力発生日となった。



## 3. 全国、地域別、各社の需給バランス実績

- 10社合成最大電力発生時の供給力は1億7,704万kWで、使用率は87%であった。
- 地域別では、東3社の合成最大電力は、8/6(木)の15時に発生した6,718万kWで、供給力7,960万kWに対する使用率は84%であった。中西6社の合成最大電力は、8/7(金)の15時に発生した8,541万kWで、供給力9,670万kWに対する使用率は88%であった。
- 各社別最大電力は、東北、中部、北陸、中国、沖縄の5社で前年を上回った。

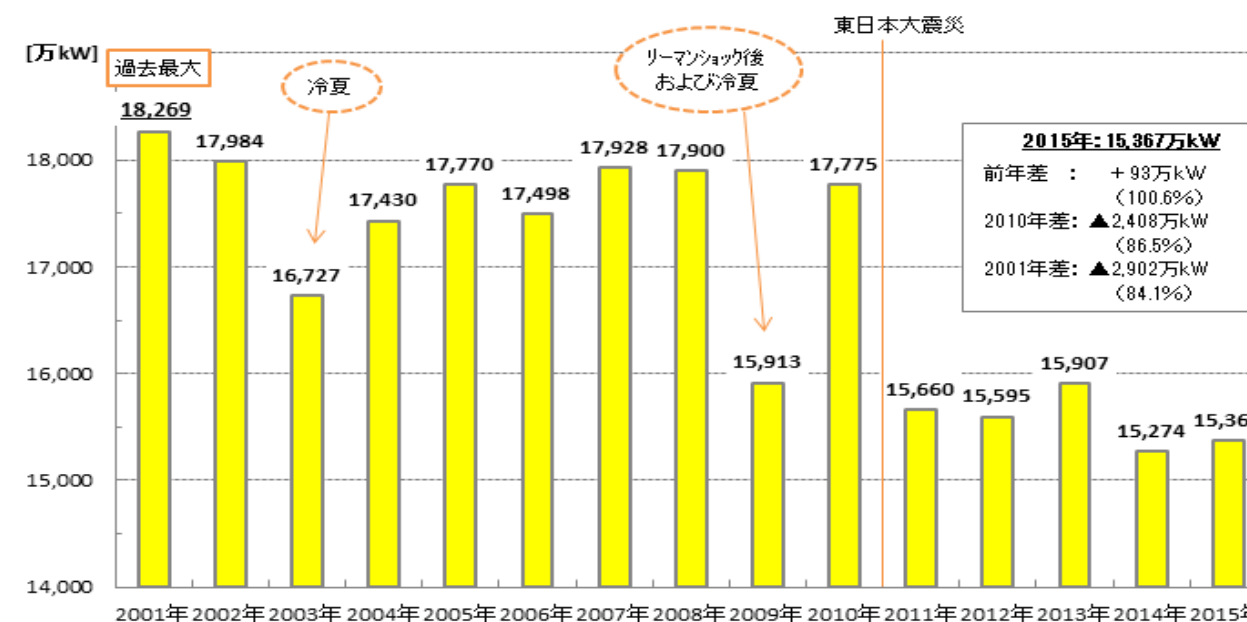
(単位: 万kW, %)

会社名	最大電力	供給力	使用率	発生日時	最大電力前年度比
10社合成	15,367	17,704	87	8/7 15時	100.6
東3社合成	6,718	7,960	84	8/6 15時	99.1
中西6社合成	8,541	9,670	88	8/7 15時	98.4
北海道	447	556	80	8/5 12時	97.3
東北	1,393	1,591	87	8/6 15時	102.5
東京	4,957	5,371	92	8/7 14時	99.5
中部	2,489	2,891	86	8/3 15時	101.5
北陸	526	599	87	8/7 12時	101.4
関西	2,556	2,904	88	8/4 17時	95.8
中国	1,075	1,194	90	8/6 15時	101.3
四国	511	553	92	8/7 17時	97.2
九州	1,500	1,703	88	8/6 17時	98.6
沖縄	151	219	69	7/2 12時	100.3

(注) 各社の使用率は端数処理の関係により、最大電力/供給力と一致しない場合がある。

## 4. 10社合成最大電力の推移

- 10社合成最大電力は、震災前の2010年と比較すると2,408万kW減(▲13.5%)となった。全国的に節電をお願いした2011年以降、低水準が続いていることから、お客さまの節電のご協力が大きな要因となっているものと推定。





## 5. 供給力確保に向けた取り組み

### 【供給力の確保】

#### ○ 火力発電所の補修時期や定期検査時期の調整

- ・設備の保安上、繰り延べが困難な補修を除き、夏季を避けて補修時期を調整。また、災害規定の適用による定期検査時期の延長も実施。

#### ○ 長期停止火力発電所の継続活用

- ・設備の状況や電力需給の状況等を踏まえ、長期間停止していた火力発電所について、震災以降再稼働させており、引き続きこれを活用(155万kW)。

[震災以降再稼働させた長期停止火力発電所の例]



関西電力・海南発電所2号機(2012年7月から再稼働)



四国電力・阿南発電所2号機(2011年12月から再稼働)

#### ○ 緊急設置電源の継続活用

- ・震災以降、緊急的に設置した電源を引き続き活用(77万kW)。

[緊急設置電源の例]



東北電力・東新潟発電所5号機(2012年6月営業運転開始)

#### ○ ガスタービンの増出力

- ・ガスタービンは夏季に出力が低下するため、吸気冷却装置<sup>※</sup>を導入し出力低下量を改善(39万kW)。

[ガスタービン吸気冷却装置の例]



中部電力・新名古屋発電所8号系列

※ 吸気ダクト入口に水を噴霧し、水の気化熱により燃焼用空気の温度を下げ、夏季の出力低下を改善する装置

#### ○ その他

- ・水力発電所の補修時期の調整。
- ・各社の需給状況に応じて、一般電気事業者間での電力融通、さらに、自家発や新電力・発電事業者からの受電及び市場を活用した調達を実施。

### 【安定運転に向けた取り組み】

#### ○ 夏季前の設備点検による健全性の確認

- ・設備の状況を踏まえ、夏季前に適切な点検及び補修を実施。

#### ○ 巡視等によるトラブルの予兆管理の強化

- ・設備の巡視頻度の増、運転データの監視強化等により、トラブル予兆を早期に発見。

#### ○ 夜間・休日を利用した早期の補修実施

- ・軽微な不具合は適切に状況を判断し、電力需要が下がる夜間・休日等を利用して補修。
- ・万一のトラブル発生時における、迅速な復旧に向けた体制の構築及び資機材等の確保。

### 【参考：需要面の取り組み】

#### ○ 電気料金メニューの拡充等

- ・節電・ピークシフトを促すような電気料金メニューや、計画調整契約の加入促進。

#### ○ 需給ひっ迫時の対策

- ・需給ひっ迫時の対策として、随時調整契約やアグリゲーターとのネガワット取引を活用。

#### ○ お客さまへの情報発信

- ・ホームページやメールによる節電呼びかけや、節電に関するパンフレット及びチラシの作成など、様々な方法でお知らせを行うとともに、「でんき予報」など需給状況の情報を発信。

以上

2015年9月18日  
電気事業連合会  
日本原子力発電(株)

### 「原子力緊急事態支援組織」の設立に向けた準備状況について

電気事業連合会は、原子力発電所の安全性を自主的・継続的に向上させていくための取り組みの一環として、万一、原子力災害が発生した場合に、多様かつ高度な災害対応を担う「原子力緊急事態支援組織」(以下、「支援組織」)を設立することといたしました。

(2012年7月20日お知らせ済)

2013年1月には、日本原子力発電(株)敦賀総合研修センター内に遠隔操作ロボット等を配備した「原子力緊急事態支援センター」を設置するとともに、電力業界全体で支援組織の整備・運営方針となる「基本構想」を策定いたしました。また、日本原子力発電(株)を準備主体として詳細検討を進めるとともに、福井県美浜町内の福井県園芸研究センターの一部を拠点候補地として、測量・地質調査を実施してまいりました。

(2013年10月25日お知らせ済)

この地質調査の結果、拠点施設の建設に技術的な支障がないことを確認したことから、当該用地の譲渡契約を福井県と締結し、現在、敷地の造成工事等を行っております。

あわせて、電気事業連合会においては、拠点施設の運営を行う主体についても検討を重ねた結果、これまでの準備主体としての実績を踏まえ、日本原子力発電(株)を実施主体とすることといたしました。また、「基本構想」に基づき、本組織の業務内容、施設・資機材、組織体制等の詳細について検討し、このたび「基本計画」としてとりまとめました。

今後、2016年3月を目途に日本原子力発電(株)を実施主体とする支援組織を設立し、拠点施設において整備が完了した施設から順次使用を開始してまいります。全ての施設が完成し、本格運用を開始するのは2016年12月を予定しています。

私ども原子力事業者は、新規制基準に的確に対応していくことはもとより、事業者自らが不断の努力を重ね、徹底した安全対策に努めていく所存であり、本支援組織についても、拠点施設の整備を着実に進め、業界一丸となって世界最高水準の支援体制の構築を目指してまいります。

以上

別紙1：原子力緊急事態支援組織の概要(基本計画の概要)

別紙2：原子力緊急事態支援組織拠点施設の配置図、完成予想図



## 原子力緊急事態支援組織の概要（基本計画の概要）

### 1. 基本的役割

- ・原子力災害発生時には、速やかに発災事業所へ資機材、要員を派遣し、発災事業者と協働して高放射線量下での原子力災害に対応。
- ・通常時には、原子力災害対応用の遠隔操作ロボット等を集中的に配備・管理し、原子力事業者要員に対する操作訓練を実施。

### 2. 実施事項

#### <緊急時の活動>

- ・発災事業所までの資機材、要員の派遣
- ・ロボット操作・支援（発災事業者と協働）

#### <平常時>

- ・連絡体制の確保（365日24時間）と出動計画の整備
- ・ロボット等の操作訓練（スキルの維持・向上）
- ・必要な資機材の調達・維持管理

### 3. 拠点施設の概要

敷地面積 約 26,000 m<sup>2</sup>

施設	用途	仕様
事務所棟	ロボット走行室、操作室 会議室、執務室等	鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 : 約 2,000m <sup>2</sup>
資機材保管庫・ 車庫棟	ロボット資機材、搬送車両等の保管庫 非常用発電機室等	鉄骨造 1 階建 延床面積 : 約 1,600m <sup>2</sup>
屋外訓練 フィールド	無線重機、無線ヘリコプター等の訓練	屋外訓練 フィールド: 約 2,600m <sup>2</sup> 予備屋外訓練 フィールド: 約 5,500m <sup>2</sup> 計 : 約 8,100m <sup>2</sup>
ヘリポート	ロボットを輸送可能なヘリコプターの離着陸	約 6,000m <sup>2</sup>

### 4. 要員数

21 名（予定）

## 5. 整備予定の資機材

### a. 遠隔操作資機材

種 類	用 途	台 数
小型ロボット	屋内外の偵察、屋内障害物除去等	6 台
中型ロボット		2 台
小型無線重機	屋内外障害物除去、機材運搬等	2 台
大型無線重機		1 台
無線ヘリコプター	高所からの偵察	2 台
合計		13 台

### b. 現地活動用資機材

種 類	主要品目
放射線防護用資機材	全面マスク、線量計、タイベック(汚染防護服)等
放射線管理、除染用資機材	除染テント、高圧洗浄機、排水保管用タンク、サーベイメータ等
作業用資機材	無線中継装置、整備工具、予備パーツ類等
一般資機材	通信用機材、照明・電源類、燃料、水・食料、消耗品類等

### c. 搬送用車両

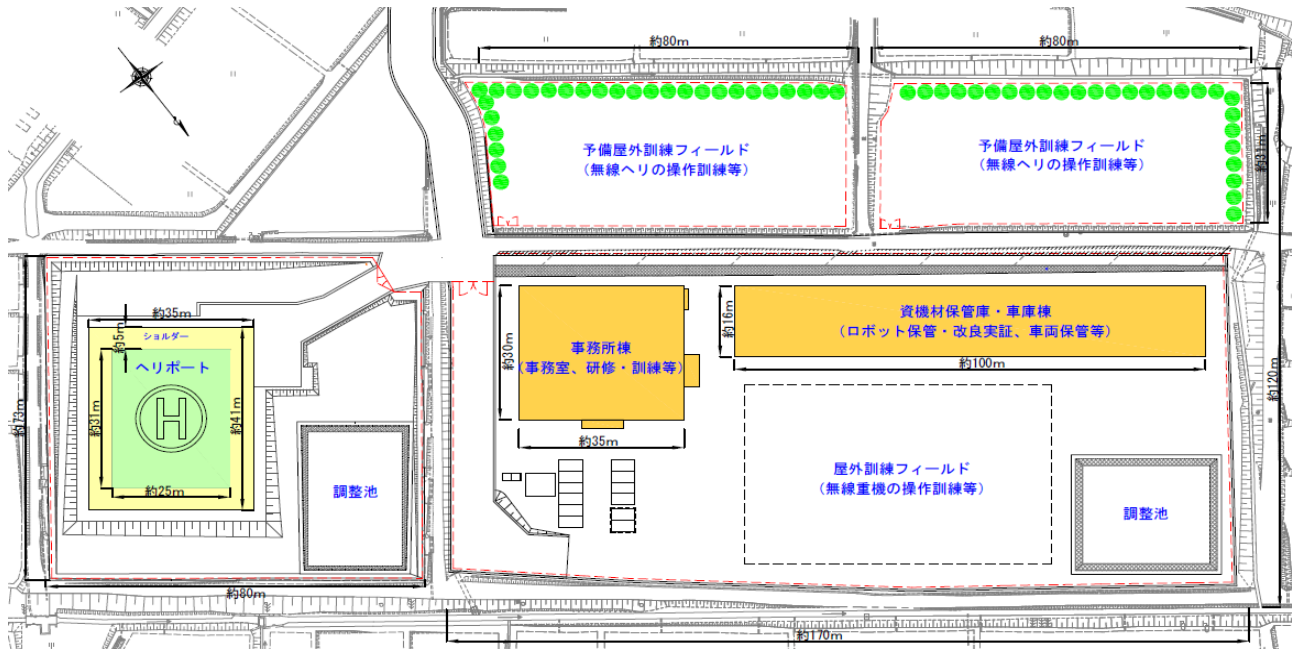
種 類	用 途	台 数
ワゴン車	要員、軽資材搬送	2 台
大型トラック (重機搬送車両)	重機搬送	1 台
中型トラック	ロボット搬送、ロボット・重機コントロール、 指令センター、電源搬送等	9 台
合計		12 台

### 参考：これまでの検討状況および今後の予定

2012 年 7 月	原子力緊急事態支援組織の設立を決定
2012 年 10 月	日本原子力発電（株）がロボット 3 台を調達
2012 年 11 月	ロボット等の資機材操作要員の訓練を開始
2013 年 1 月	日本原子力発電（株）が「原子力緊急事態支援センター」を敦賀市に設置
2013 年 10 月	電力業界全体で支援組織の整備・運営方針となる「基本構想」を策定 拠点候補地として、福井県園芸研究センターの一部を選定
2014 年 11 月	日本原子力発電（株）が福井県と拠点施設用地の売買契約締結
2015 年 3 月	敷地造成土木工事着手
2016 年 3 月	支援組織設立、予備屋外訓練フィールドやヘリポートの運用開始 本体施設の建築工事着手
2016 年 12 月	本体施設の竣工、本格運用開始

以 上

配 置 図



完 成 予 想 図

